

＝ 普及 情 報 ＝

No. 1

平成30年4月16日

西部農林振興センター浜田農業普及部

標 題 | いわみ中央西条柿産地再興ビジョンを策定！～5年後に販売額8,000万円を目指す～

(ダイジェスト)

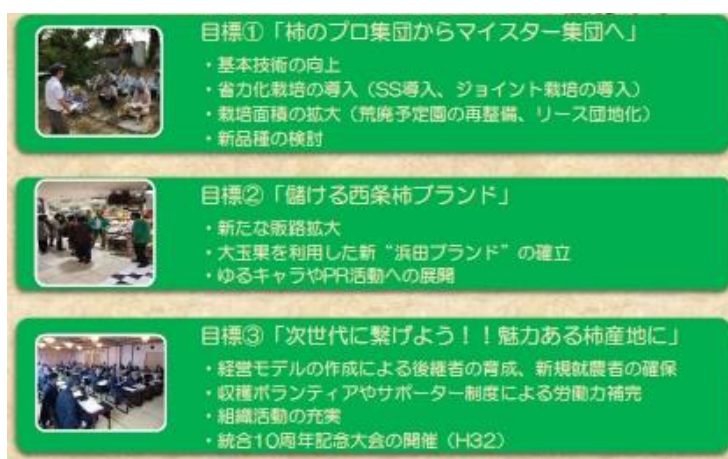
平成30年4月12日(木)に第9回西条柿定期総会が開催された折、いわみ中央西条柿産地再興ビジョンが議案として提示され、5年後の販売金額8,000万円を目指すことが承認されました。目標達成に向けて生産者と関係機関が一丸となって計画的に取り組みを行っていきます。

いわみ中央西条柿生産組合は、平均年齢が約71歳と高齢化が進み、10年後には生産量が100tを切ることが予想され、産地が衰退していくことが危惧されています。そこで、平成28年3月に関係機関と生産者として生産者意向調査を行い、生産者台帳の整備を皮切りに、組合内の若手生産者や規模拡大希望者を中心に昨年度の総会から計6回にわたり、将来の産地の在り方や活動内容について協議を重ね、当地区の産地再興に向けたビジョン策定を進めてきました。

産地再興ビジョンでは、「柿のプロ集団からマイスター集団へ」「儲ける西条柿ブランド」「次世代に繋げよう！！魅力ある柿産地に」の3つの行動目標を設定し、5年後には農家単収の向上(512kg/10a⇒1,000kg/10a)による「販売額8,000万円」を達成するための行動計画を作成しました。

平成30年4月12日に西条柿定期総会でビジョン検討会の代表者から産地再興ビジョンについてパワーポイントでの発表があり、いわみ中央西条柿産地再興ビジョンが承認されました。発表の中では、代表者から「目標を達成した暁にはマカオ旅行に行こう！！」と意気込みが語られました。

当普及部としても、産地再興ビジョンの目標達成に向けて関係機関と連携して計画的に取り組むとともに、生産者の単収向上に向けて栽培支援を行っていくこととしています。



行動目標について



産地再興ビジョンの発表時の様子